

「地域情報プラットフォーム相互接続確認イベント第3期」の実施について ～参加製品すべてについて相互接続を確認～

平成22年11月4日
財団法人全国地域情報化推進協会

今般、当協会では、地域情報プラットフォームの普及促進施策の一環として、当協会会員企業8社を一同に会した「**APPLIC 平成22年度相互接続確認イベント第3期**」を実施し、合計18製品について、予め計画していたすべての相互接続を確認いたしましたのでご報告いたします。

1 実施概要

今回の相互接続確認イベント第3期のポイント（特徴）は、下記の通りです。

- 標準仕様（APPLIC-0008-2009）対応の製品を、ユニット系製品を提供する地域のベンダが新規に4社参加して実施。
 - 8社、18製品で相互接続確認テスト実施。
※相互接続確認イベント第1期から延20社参加、52製品が成功登録。
- 統合DB（データベース）、SSL（暗号化方式）のPF（プラットフォーム）通信実施や、新たな業務ユニット3種類についてテスト実施。
- APPLIC-0008-2009 に対し相互接続確認用テストツールを強化

(1) 実施日と場所

2010年10月28、29日の二日間 APPLIC 内会議室

(2) 実施内容

地域情報プラットフォームを実現する製品群を、下記のとおり大きく3つのカテゴリに分け、それぞれについて相互接続性の検証を行いました。なお、本イベントにて相互接続検証を実施した製品はすべて、地域情報プラットフォーム準拠登録を実施されたものになります。

(a) サービス基盤製品のグループ

通信やBPM(Business Process Management)を担うミドルウェア製品

(b) 業務ユニット製品のグループ

軽自動車税、個人住民税、乳幼児医療、法人住民税、国民健康保険、国民年金など自治体業務を担う製品（及び、統合DB製品は、業務ユニットと近いため、本カテゴリで実施）

(c) GIS(Geographic Information System)ユニット製品のグループ

自治体業務において広く地図情報を活用可能とすべく設定したユニット製品
また、今回対象とした地域情報プラットフォーム標準仕様の版は、以下の通りです。

- ・地域情報プラットフォーム標準仕様(APPLIC-0008-2009) : 2009年7月リリース
なお、現在公開している最新仕様 (APPLIC-0009-2010) に対する相互接続確認テ
ストは 2011年1月末 (参加募集は12月予定) に実施予定です。

(3) 実施手順

各カテゴリの製品同士の相互接続性について検証を行いました。その組み合わせ
は以下の通りです。

PF 通信製品 (サービス基盤) と PF 通信製品 (サービス基盤)
PF 通信製品 (サービス基盤) と BPM 製品 (サービス基盤)
PF 通信製品 (サービス基盤) と 統合 DB 製品
PF 通信製品 (サービス基盤) と GIS ユニット製品
業務ユニット製品 と 業務ユニット製品
業務ユニット製品 と 統合 DB 製品
業務ユニット製品 と GIS ユニット製品
GIS ユニット製品 と GIS ユニット製品

相互接続確認テストの手法としては、それぞれ同テスト用のテストデータを作成
し、要求側 (リクエスタ) とそれに応える側 (レスポнда) の間で、地域情報プラ
ットフォーム標準仕様にて規定している各準拠ルールに沿った連携ができることを
確認するものいたしました。

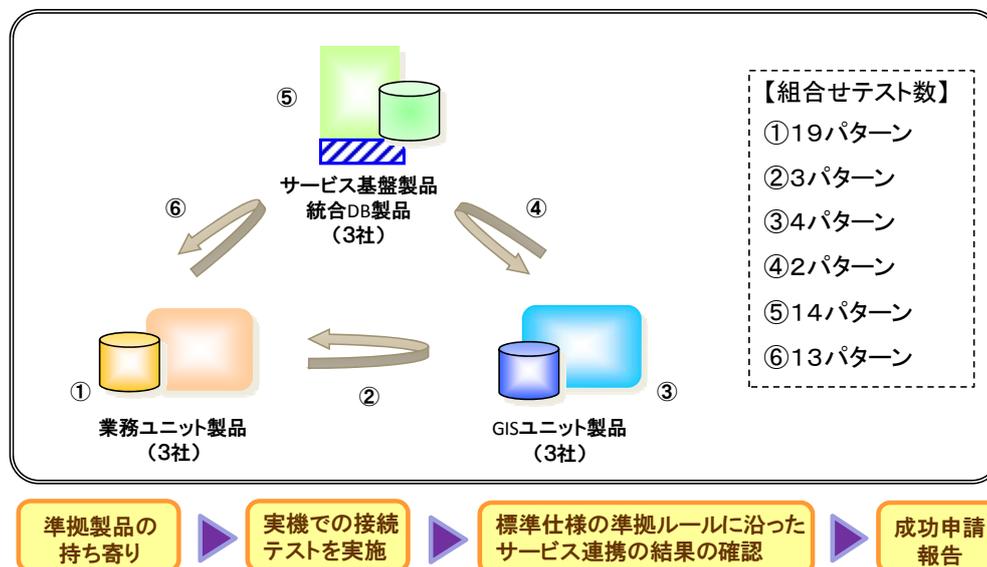
(4) 実施結果

当初予定していた相互接続確認テストに関し、すべてその相互接続性を確認 (接
続に成功) いたしました。

(5) 参加企業 (50音順)

株式会社インフォマティクス
株式会社 NTT データ
株式会社電算
株式会社ドーン
株式会社日立情報システムズ
株式会社日立製作所
マイクロソフト株式会社
株式会社両備システムズ

2 相互接続確認テストのイメージ



3 今後の予定

今回の相互接続テストを実施した中で、地域情報プラットフォーム標準仕様に対して新たに確認等が必要な事項を整理し、必要に応じて同標準仕様へフィードバックを図っていく予定です。

また、今回の相互接続確認イベントの検証結果に関する情報を、下記の当協会ホームページにて公開しておりますので、併せてご参照ください。

<http://www.applic.or.jp/pf/sosetu/SSK-2010-01.pdf>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
 財団法人全国地域情報化推進協会
 (担当：小原、武藤、坂本)
 電話：03-5251-0311
 FAX：03-5251-0317
 e-mail：info@applic.or.jp